

2月8日(月)

## あなたの目に塗られた泥

聖書朗読 ヨハネ 9：1～12

しかし神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者を選び、  
I コリント1：27

私が伝道者になりたての頃は、大変気負って教会で奉仕していたことを思い出します。自分は伝道者なのだから、聖書を完全に知っていなければならないと思っていたのです。教会員の方が何か尋ねてくる疑問には、全て完璧に応えなければならないと思っていたのです。聖書がはっきり言っていないことでさえも、真偽をはっきり説明することができなければならないし、聖書全体をしっかり理解すべきだと思っていたのです。しかし、それから60年経って、それは間違っていたことに気がきました。聖書を完全に理解している伝道者などいるのでしょうか。完全に理解出来ないからこそ、イエス様が必要なのではないのでしょうか。そのことを伝道者になって60年経った今分かったのです。つまり、私たちがまず知るべきことは、聖書の本質なのです。神様がこの世を造られ、人間の罪を救うためにイエス様を送って下さったことなのです。そして、それが良く表れている箇所があります。

ヨハネの福音書9章には、「私は知りません」と何度も繰り返して言う人がいます。人々は「その人はどこにいるのですか？」と聞きましたが、彼は「私は知りません」と答えました。

「あの人が目をあけてくれたことで、あの人を何だと思っているのか。」と人々は尋ね続けましたが、彼はさまざまな言い方で「私は知りません」と答えました。

しかし、この新しく癒された人が確かに知っていたこと、そして彼が自分に質問する人たちに言い続けたことは、イエス様が彼にしてくださったことでした。「ただ一つのことだけ知っています。私は目が見えなかったのに、今は見えるということです。」イエス様の御力と御恵みを認めるのに、彼が知る必要があるのはそれだけでした。イエス様が私たちにしてくださったこと、これこそがあなたや私が知る必要があることなのです。

つまり、私たちが知るべきことは、他の人にはできないことがイエス様にはお出来になるということです。イエス様が神様の御子であり、御力と御恵みのお方であるということです。

讚美歌 130

祈り 親愛なる主よ。御子が、私たちが人生の困難に立ち向かうのを助けてくださるために、私たちにしてくださったすべてのことに感謝します。自分自身ではなく御子に頼ることを教えてください。

御子のお名前においてお祈りします。アーメン。

ジーン・シェルバーン  
テキサス州 アマリロ

## 今日の日

2021年2月8日～2月14日

翻訳 村越克子  
中野雄貴

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月9日(火)

## 真の盲目とは？

聖書朗読 ヨハネ 9：35～41

しかし、イスラエルの人々の思いは鈍くなったのです。というのは、今日に至るまで、古い契約が朗読されるたびに、同じおおいが掛けられたままで、取りのけられていません。それはキリストによって取り除かれるものだからです。

Ⅱコリント 3：14

盲人がシロアムの池に行きました。彼は、今まで全く見ることはできませんでした。つい先ほど、キリストが作られた泥を目に塗って癒されました。しかし、イエス様がそのことを安息日に行なったことを知り、パリサイ人はイエス様を非難し、盲人の両親にまで真偽を確かめました。イエス様が神から出ているとは思えなかったのです。

生まれつきの盲人の目が見えるようになったとき、どうしますか？拍手喝采！風船を飛ばして、パーティーを開きたくなるでしょう。驚くべき、誇らしい、喜びがはじける奇跡を神様に感謝しましょう。そういうふうになるはずでしょう？

しかし、そうはなりません。パリサイ人は、彼が盲人だったのは、彼か彼の両親が罪を犯したからだと思っていました。それに反して、イエス様は彼が盲人なのは、神のみわざが現われるためであったと話しました。そして、彼を癒したのです。

パリサイ人は全く御子の御力を信ずることが出来ませんでした。彼らはイエス様より自分たちが全ての律法を守り、自分たちは正しいと思っていたからです。盲人は、自分は何も知らない者だが、イエス様が癒し主であり、御力があるお方であることを目を癒して頂いたことで実感していました。そして、イエス様によって人生が変わりました。誰かの人生がイエス様によって変えられるなら、それは私たちの喜びです。目の見えなかった人が癒されたという驚くべき御力を見ても、パリサイ人はイエス様を批判し、喜びを否定しました。つまり、パリサイ人たちはイエス様の慈しみと御力に対して盲目でした。

讃美歌 126

祈り 親愛なる主よ。いのち、光、御恵み、希望という贈り物をくださるあなたをたたえます。あなたの光が私たちの人生を照らし、あなたの確かな喜びで輝きますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カーティス・K・シェルバーン  
テキサス州 ミュールシュー

2月10日(水)

## 良い羊飼いと彼の羊

聖書朗読 ヨハネ 10：22～30

わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。  
ヨハネ10：27

今の人たちは、羊についてよく知りませんが、イエス様のお話を最初に聞いた人たちは羊や羊の世話をする羊飼いのことをよく知っていました。羊は彼らの文化や経済にとって重要なものでした。それで、イエス様は羊と羊飼いのイメージを用いて教えを説かれました。よく知られているたとえの一つが、「わたしは良い羊飼いです。」(ヨハネ10：11、14)というイエス様のおことばです。

今日の学びの中でも、イエス様は、ご自身に従う者を言い表すのに羊と羊飼いのイメージを用いられています。ご自身に従う者のことを比喩的に「羊」と言われ、「わたしは彼らを知っています。」とおっしゃいました。これまでに生きてきた人々、またはこれから生きるすべての人々の中で、イエス様が私をご存知だということです。なんという驚嘆すべきすばらしいことでしょう！

イエス様は2つのことをご自身の羊に約束されました。「わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。」と「だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。」(28節)。今の世の中には不確かなことがたくさんありますが、イエスのおことばは私たちに希望と安心を与えてくださいます。イエス様に従う人たちは、今でも困難や、苦難を経験しているかもしれませんが、神様の羊飼いでられるイエス様は苦難に遭っている人たちのことを決してお見捨てにはならず、永遠のいのちへと導いてくださいます。

讃美歌 136

祈り 主よ。私たちはあなたの羊です。あなたのみことばに耳を傾け、日々、みことばに従うことができますように助けてください。

良い羊飼いであるイエス様のお名前によって、アーメン。

フィリップ・アイヒマン  
サウスカロライナ州 アイアモ

2月11日(木)

## その石を取りのけなさい

聖書朗読 ヨハネ 11:38~44

その石を取りのけなさい。

ヨハネ11:39

ラザロは死んで埋葬され、4日たっていました。イエス様はラザロの墓をご覧になって、友や親戚の人たちとともに涙を流されました。それから、こう言われました。「その石を取りのけなさい」と。しかしマルタは、4日も経っているので、ラザロの遺体は臭くなっていますと、イエス様に申し上げました。イエス様はマルタにこう言われました。「信じるなら神の栄光を見る」と。ラザロの姉妹たちは、イエス様が生きている者を癒すことができるとは信じていましたが、イエス様が持っていらっしゃる御力がいかなるものであるか、死をも支配する御力であるということにはわかりませんでした。イエス様は石をとりのけるように言われ、ラザロは生き返りました。

私はマルタに対してイエス様が返されたおことば、「信じるなら神の栄光を見る、とあなたに言ったではありませんか。」についても一度深く考えたいと思うのです。つまり、もしイエス様がマルタに話したように、「その石を取りのけなさい」と私に言うならば、私は何と答えるだろうと。私たちは、自分たちの方がわかまえていていると思いい、悪臭が蔓延すると抗議してしまっていないでしょうか。私たちは、神様が神様の方法でなさることを拒み、神様のご栄光が私たちの人生で輝かないようにしてしまっていないでしょうか

イエス様のみことばに従ってこそ、神様のご栄光が私たちの人生を満たします。イエス様という御光が私たちを照らし、ラザロがよみがえったのです。私たちも自分を遮る石を取りのけなさいとイエス様が仰ったら、「はい、取りのけます」とお答えして、永遠の命へと導かれていきませんか。

讃美歌 262

祈り イエス様、私を愛してくださいありがとうございます。神様、私を愛してくださいありがとうございます。聖霊様、私を愛してください、私の行くべき道から石をとりのけて下さりありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジーン・ガン

テキサス州 ネーデルランド

2月12日(金)

## 洗 足

聖書朗読 ヨハネ 13:1~11

それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまどっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。

ヨハネ 13:5

現代社会では互いの足を洗いあうなんてことはめったにしません。そんな必要もありませんし、無様にも見えます。昔読んだ本にこのようなものがありました。とある裸足の男の子が靴屋の窓をのぞき込んでいると、それを見た身なりの良い女性が可哀そうだと店内に連れて行ってくれたのです。水と石鹸とが入ったたらいで彼女は少年の足を洗い、それから彼女は靴下と靴を何足か彼に買ってくれました。きれいな足になり、新しい靴下と靴を手に入れた少年はとっても嬉しく思い、感謝して彼女にこう尋ねたのです。「あなたは神様の奥様ですか??」なんて素晴らしい考えでしょうか。

足を洗うことこそできませんが、私たち神様のしもべも思いがけないような素晴らしく効果的な方法でお仕えすることができます。例えば、私の娘はホームレスの方々のために腐りにくい食べ物に包装して、車で配っています。私の生徒も困っている方のために上着を集めています。私たちはきつともっと「足を洗う」必要のある人に気が付き、主の名の下でそうしなければならぬのでしょうか。もしそうできたら、もっときれいで素晴らしい世界になるはずですよ。

讃美歌 誰かのために

祈り 天にいますお父様。私たちが互いに足を洗える、そんな勇気をお与えください。助けを求め人々を助けられるようにしてください。

イエス・キリストの御名を通してこのお祈り御前にお捧げします。アーメン。

スーザン・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

2月13日(土)

## イエスが愛したように

聖書朗読 ヨハネ 13:30~35

キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

Iヨハネ 3:16

「世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。」このヨハネの福音書13章1節の言葉はこの章の要約となっています。そしてその後イエスの最も愛ある心が示されている箇所が記されているのです。15節にはこうあります。「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。」

しかし、ルカの福音書22章24節にはこうあります。「また、彼らの間には、この中でだれが一番偉いだろうかという論議も起こった。」そう、晩餐と時を同じくして、イエスが足を洗ってくださり、イエス様の愛をお示し下さったとき、弟子たちは誰が一番偉いかについて議論していたのです。弟子の足を洗われた後イエス様はこういいました。「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」(ヨハネ13:34~35) イエスは仕えるものとなることで愛を示したのです。そして翌日、さらなる愛をも示してくださいました。そう、いのちを捨てて下さったのです。

イエス様の行動は愛でした。その犠牲は愛でした。そんなイエス様が言うのです。「私があなたを愛したように、あなたも誰かを愛しなさい」と。

讃美歌 461

祈り 天の父よ、イエス様が私たちを愛してくださったように私たちも誰かを愛せますように。その愛を犠牲をもちとわらない行動で示すことができますように。イエス様の御名を通して。アーメン。

デーヴィッド・ギブソン  
テキサス州 コマース

2月14日(日)

## 良き友

聖書朗読 ヨハネ 15:12~17

人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。  
ヨハネ 15:13

私が10代のころ、一緒に教会に行き、バスに乗って繁華街の映画館に行き、夏のユースキャンプに行き、同じ学校に行き、一晩中語り明かすような親友たちがいました。何十年もたち、もはや私たちは皆別々の町で暮らしていますが、十何人かとは数か月に一度、一緒にランチして最近あったことを話し合います。孫の自慢をしたり、過ぎ去った日々を思い出し、愛する人たちを思い出しながら時に涙します。そしてそんな私たちは皆神様を信じているからこそ、お互いに励ましあうことができるのです。

友情こそが重要な神様からの祝福なのです。励ましてくださいと神様に祈るとき、神様は友人を用いてその困難を支えてくださるのです。友人は私たちに必要な愛、抱擁、祈りをすべて与えることができます。どんな欠点をも真の友人は受け入れてくれるのです。彼らを信頼し、どんな悩みをも安心して伝えることができます。

イエス様がどのように私たちを愛したか考えてみてください。今でも、イエス様は私たちと共にいて導いてくださる真の友人です。

讃美歌 312

祈り 天のお父様。私たちの友情に感謝いたします。私たちが誰かの友となり、彼を愛し、励ませるように導いてください。イエス様を見習い、そのように生きられるようにお助けください。

信じます主イエスキリストの御名によってお祈りします。アーメン。

ジェイン・ポー・マシイ  
テキサス州 ヒューストン